

証券コード 5991

NHKニッパツ

日本発条株式会社

第83期

株主の皆さまへ

平成14年4月1日から平成15年3月31日

もくじ

ごあいさつ	1
製品バリエーション	3
事業概況	
懸架ばね部門	5
シート部門	6
精密ばね部門	7
産機・情報セキュリティ部門	8
海外部門・研究開発部門	10
決算情報	
単独情報	
貸借対照表	11
損益計算書	12
利益処分	12
連結情報(ご参考)	
連結貸借対照表	13
連結損益計算書	13
株式概況	14
役員・株価の推移	14
株主メモ・会社概要	裏表紙

当社第83期事業報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。
当期のわが国経済は輸出の回復が見られましたが、米国経済減速の影響を受け総じて停滞し、加えて不良債権問題や株安、個人消費の低迷等により厳しい状況下で推移いたしました。

当社の主要な得意先の自動車産業は、国内販売が全般的に低調なものの、軽自動車の堅調な需要と排気量1,300CCクラスの小型車の新車効果により、5,868千台で前期比0.7%の増加となりました。一方、完成車輸出は米国向け輸出の増加により4,772千台で前期比12.3%の増加となりました。この結果、当期の国内生産台数は、10,323千台で前期比5.3%の増加となりました。

また、もう一方の主たる得意先の情報機器関連産業は、世界的な需要停滞が継続し厳しい事業環境となりました。

このような状況の中で、当社は前期同様に原価低減を推し進め、一層の収益構造の改革に取り組むとともに、グループ全体でのグローバルな事業基盤の強化に努めてまいりました。

事業基盤の強化につきましては、懸架ばね部門ではスタビライザの受注拡大に対応するため、米国のニューメーサーメタルス社の第二工場を立ち上げ、また、中国の生産拠点としてこうしゅうにっせいだんこうゆげんこうし 広州日正弹簧有限公司を設立し、本年6月の納入に向け工場を建設いたしました。シート部門では、フォルシア社との合弁会社フォルシア・ニッパツ九州株式会社が完成シートの納入を開始いたしました。

以上のように、当社は不透明な経営環境のもとで、活発な営業活動を展開し販売数量を増加させましたが、販売価格低下の影響を受け、当期の売上高は150,266百万円で前期比5.3%の増収にとどまりました。一方、収益面では徹底した原価低減活動の展開により、経常利益は5,419百万円で前期比65.2%の増益となりました。当期利益は厚生年金基金の代行返上益がありましたが、投資有価証券の評価損を計上したことにより2,800百万円にとどまりました。

なお、当期末の利益配当金は昨年12月にお支払いしました中間配当金と同じく1株につき3円といたしました。

今後のわが国経済は、景気の先行きに不透明感の漂う中で予断を許さない状況が続くものと思われれます。

このような状況のもとで、当社はユーザーに信頼いただける世界トップの品質を提供する一方で、低成長のもとにおいて安定収益を確保する経営基盤の確立に向け、集中購買などにより原価低減を推進するとともに、引き続き新技術・新事業の開発、最新鋭の情報システムの構築、人材の育成に努めてまいります。

株主の皆さまのご支援に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも一層のご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成15年6月

取締役社長 佐々本 謙二



ばね・シートから情報・産業機器までの ワイドバリエーション

トラック用板ばねの生産から事業を開始したニッパツ。自動車産業の成長とともに、生産品目もその種類と分野を広げ、自動車のいろいろな機能を支える製品を生産しております。

また、ニッパツの技術は自動車関連のみならず幅広いジャンルで活躍しております。マイクロメートル単位のメカニカルな部分を受け持つ精密ばね製品、IT(情報技術)の進展を支えるHDD(ハードディスクドライブ)用サスペンション、スペースを有効利用できる二段・多段式駐車装置、さらにエレクトロニクス技術を駆使した情報セキュリティ製品など、いずれも常に新しいニーズに応え、あらゆる分野にその多彩な技術で貢献しております。

サイドエアバッグ付きシート

側面からの衝撃を緩和し、乗員を保護します。エアバッグをシートに内蔵しているため、シートのポジションに関係なく安全効果があります。



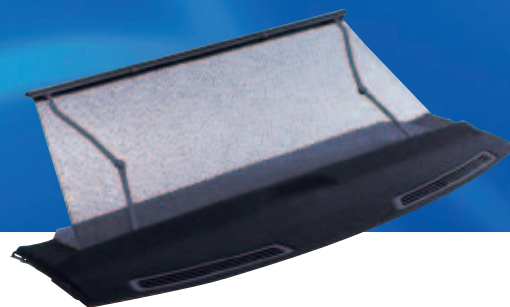
金属ベローズ製品

メンテナンスフリーかつ抜群の耐久性を備えた金属ベローズ製品群。ガススプリング、油圧アクチュエータなどとして多方面で活躍しています。



懸架ばね

高応力化により軽量化を図った各種懸架ばね。コンパクトなスペースにレイアウトできる「たる形ばね」。走行安定性と乗り心地向上に優れています。

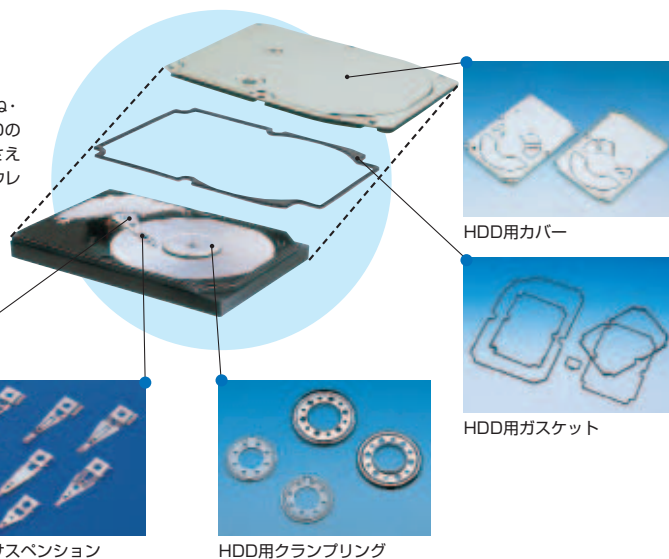


電動サンシェード

リヤウィンドウ用で車内への直射日光を遮ります。開閉が自動で行える高級感のある製品です。

情報通信機器部品

情報通信機器には高い精度と品質をもつ精密ばね・プレス品、化成品が使われています。中でもHDDのヘッドを支持するサスペンションやディスクを押さえるクランプリング、ガスケット用の薄物シート状ウレタンなどは高い評価を得ています。



駐車装置

限られた駐車スペースを有効利用できる二段・多段式駐車装置です。マンションやテナントビルに広く利用されています。



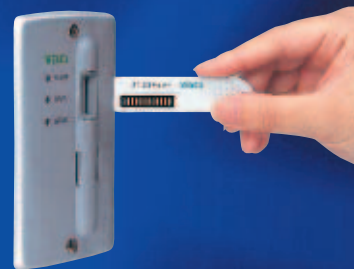
線ばね

バルブスプリングやクラッチ用ばねなど車の多くの場所で使用されています。



スーパーシール・スーパーシート

当社独自の製造技術をベースとした特殊ウレタン製品です。防水、気密、吸音などの用途に幅広く利用されています。



キー・ビスカス

偽造防止効果の高い機械認識ホログラムを利用したビスカスは、警備機器などハイセキュリティ分野で使用されています。

懸架ばね部門

当部門は、優れた技術と生産体制により、市場において安定した評価と高いシェアを確保しております。当部門の強みは北米、南米、欧州、タイ、中国、台湾およびインドに13の関連会社を持ち、常に市場ニーズを取り入れて世界トップレベルの技術力、開発力、品質管理体制を維持していることでもあります。

また、自動車の軽量化と性能向上ニーズに応えるため、新開発の高強度材料を使用した板ばね・コイルばね・中空スタビライザは、国内外の自動車メーカーに採用され順調に売上を伸ばしております。

新製品の「L形コイルばね」は、米国、欧州、国内乗用車に採用され好評を得ております。乗用車の乗り心地の改善に対して大きな効果があり、今後、数多くの採用が予定されております。

また、欧州市場で数多く採用されている「たる形ばね」については、横浜工場に生産設備を新設し量産を開始いたしました。

一方、自動車部品のモジュール化に対応して、懸架装置のシステム化を積極的に進めております。コイルばねとショックアブソーバを組み込んだモジュール品、スタビライザリンクと横ズレ防止用アルミリングを取り付けたスタビライザユニット、トラック用のエアサスペンションシステムなど、国内外の自動車メーカーより注目され、高い評価を得ております。

懸架装置以外の分野では、金属ペローズを応用したアキュムレータがあります。すでにこの製品は、サスペンション、エンジン燃料噴射ポンプの脈動吸収用に使われておりますが、さらに小型、軽量化製品を開発し、ブレーキ蓄圧用などの大量に使用される用途への拡販を進めております。

金属ペローズの応用製品はアキュムレータ以外にも、医療用途として人工心肺の熱交換システム用に使われるなど、さまざまな用途で採用されております。

また、その他に、プレス金型用のダイスプリング、鉄道用架線の張力を一定に保つガスばねバルンサ、遮断機のバランスを調整するガスプリングなどを商品化しております。

24.8%

懸架ばね部門の売上高構成比

主な営業品目

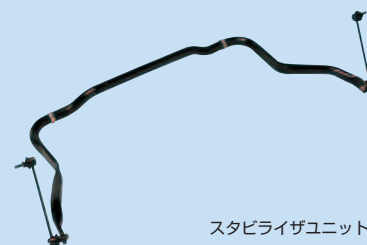
板ばね、コイルばね、スタビライザ、トーションバー、スタビライザリンク、ラジアスロッド、アキュムレータ、ガスプリング、サスペンションアーム、スタビリンカー



L形コイルばね



たる形ばね



スタビライザユニット



アキュムレータ

シート部門

当部門は、徹底した品質管理と高い技術力があいまって、ユーザーに喜ばれる世界トップクラスの自動車用シートとサービスを提供しております。当部門の強みは、特定の自動車メーカーの系列に属さず、国内各社の乗用車、商用車のシートをデザインから設計、生産、品質管理まで一貫したシステムで供給していることにあります。国内のみならず、北米、東南アジア、中国、台湾の海外7社の関連会社でも同様に、日系自動車メーカーを中心に高い評価を得ております。

また、自動車の快適な乗り心地・安全性向上・軽量化など、ユーザーのニーズにも応えております。

快適な乗り心地を追求した表皮一体成形シート、多機能なパワーシート、エアサスペンションシート、振動吸収ウレタンパッド、安全性を向上させた高強度両側ロックリクライナ付きシート、衝突時にシートクッションの中のストッパーパイプが跳ね上がり乗員の傷害を低減させるCRD(クッション・レストレイント・デバイス)などを実用化し、国内外の市場で高い評価と信頼を得て自動車メーカーに採用されております。

さらに衝突時にヘッドレストが前方に移動することにより、乗員の鞭打ち傷害を低減させるAHD(アクティブ・ヘッドレストレイント・デバイス)をはじめ、乗員の安全確保のため、シートの新しい安全装置の開発が完了しております。

一方、自動車用内装分野では、リヤウインドウ用で車内への直射日光を遮る電動サンシェードが高級車に採用され、カーゴネット、トノカバーなど快適性向上を狙った製品もあわせて、市場の拡大に努めてまいります。



35.4%

シート部門の売上高構成比

主な営業品目

自動車用シート、シート用機構部品(リクライニング、安全部品)および内装品(サンシェード、トノカバー)



カーゴネット付きリヤシート



CRD(クッション・レストレイント・デバイス)



両側ロックリクライナ

精密ばね部門

当部門の精密ばね（線ばね、薄板ばね）およびその応用機能ユニットは、自動車、二輪車をはじめとして家電製品、コンピュータなどの情報通信機器に至るまで、あらゆる分野の製品に組み込まれております。

これらの製品は、市場のニーズとたゆみない技術開発から生み出され、精度の高い材料・設計・加工技術を活かして生産され、国内外の市場で高い評価と信頼をいただいております。

中でも、HDD（ハードディスクドライブ）用サスペンションは、世界第2位の生産実績を誇っており、国内はもとより海外のHDDメーカーに製品を供給

しております。現在、HDDはますます高速化、大容量化しており、

サスペンションには、より高精度と高品質が求められております。

近年、市場投入した「風魔」は、国内外のHDDメーカーから高い評価をいただいております。当部門はたゆみなく新製品の開発に注力し、市場シェアの向上に努めております。

さらにHDD用部品のカバー、クランプリング、キャリッジ部品の開発は日本で行い、その大半はタイのNHKスプリング（タイランド）社で生産しております。

また、電子機器の検査に使用されているマイクロコンタクタは、その小型化、高機能化の要求に対して、世界最小といわれる微細ばねを使い、ますます細かいピッチで対応できるようになりました。

今後、さらに成長の見込まれる分野で応用製品の拡大に努めてまいります。



28.1%

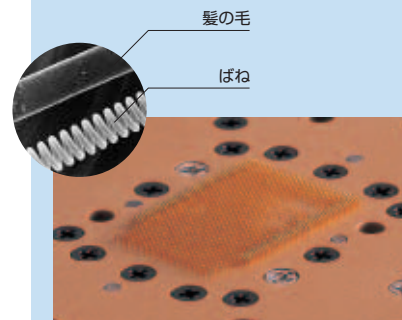
精密ばね部門の売上高構成比

主な営業品目

HDD用部品（サスペンションおよび機構部品）、線ばね、薄板ばね、液晶・半導体検査用プローブユニット、精密接合品、精密加工品、応用機能ユニット



HDD用サスペンション「風魔」



マイクロコンタクタ

産機・情報セキュリティ部門

(産機部門)

当部門は、当社のもつ各種技術を結びつけ、さまざまな分野のニーズに応える製品を提供しております。

接合・セラミック部門は、半導体製造装置用の部品を、ろう付技術を利用して生産しております。特に、当社独自の製造方法により生産するアルミ材質のろう付製品は、高い評価をいただいております。また、セラミック精密部品では、光ファイバー用接続部品の販売を行っており、光通信の普及に伴い今後の売上拡大が期待されます。

プラント装置部門は、国内外に建設される発電所や石油・化学プラントに使用される配管支持装置などを生産する一方、各種解析サービスを行っております。

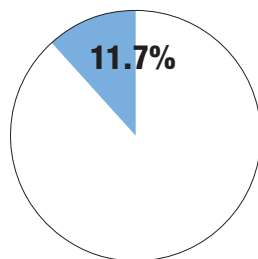
パーキング部門は、二段・多段式駐車装置をシリーズ化し、主にマンション向けに納入しております。当社は事業の強化を図るため、販売、施工、メンテナンス部門を分社化しており、設計から施工、メンテナンスに至る総合技術は、業界でも定評をいただいております。

化成部品部門は、防水機能を主とした特殊ウレタン製品を生産しており、自動車、家電、情報通信機器、建設分野など幅広い市場で高い評価をいただいております。中でも、高密度薄物シート状ウレタンは、従来のHDDガスケット用に加え、フレキソ印刷用クッション材などへの需要拡大が期待されます。

電子部品部門は、金属ベースのプリント配線板を高度な品質管理のもとで生産しております。鉄ベースのプリント配線板は、主にAV機器、IT機器などのモータ用回路基板として使用されております。また、アルミベースのプリント配線板は、放熱性や塑性加工性などの優れた特性を活かし、電源装置、自動車用電装部品などの用途に需要が拡大しております。

主な営業品目

(接合・セラミック)ろう付製品、セラミック製品
(プラント)配管支持装置
(パーキング)駐車装置
(化成品)ポリウレタン製品
(電子部品)プリント配線板
(情報セキュリティ)セキュリティシステム、警備端末機、カードリーダー、偽造防止システム、設計支援ソフトウェア



産機・情報セキュリティ部門の売上高構成比



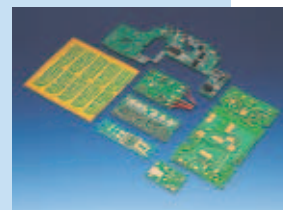
ろう付製品



駐車装置



特殊ウレタン製品



金属ベースプリント配線板

(情報セキュリティ部門)

当部門は、情報化社会の偽造防止ニーズに応えるため、当社独自に開発した機械認識によるセキュリティシステムを展開しております。

当期は、多発している株券偽造の防止対策として、信託銀行2行ですでに導入いただいている個別株券認証システム“IOSAS”（イオサス）を用い、株券の真偽判定を行える“IOSAS株券”を、前期に引き続き大手企業で採用いただきました。本システムは、株券媒体に自社開発の特殊ファイバー“FibeCrypt”（ファイブクリプト）をすき込み、そのファイバーを専用センサーにて機械認識することにより、株券の真偽判定を高速かつ確実に大量処理し、偽造株券を発見排除するシステムであります。偽造防止対策の切り札とし、いろいろな分野での活用を期待しております。

また、最近、国内外で高級ブランド品や工業製品等の偽造品が多発しており、これらの偽造品はたいへん精巧に作られ、目視判別が難しくなっております。その対策として真偽判定用のホログラムも実用化されておりますが、それ自体が偽造されており、目視での判別は難しい状態にあります。

そこで、この偽造品対策として、特殊な光学特性をもつホログラム“トラストグラム”を開発し、プリンタ、オーディオ、電池、自動車部品などのトップブランドメーカーに納入し、効果をあげております。

トラストグラムには目視判定対策としてホログラムの表面の色が変化するカラーシフトや、簡便に真偽判定が可能なハンディビューアのほか、専用センサーによる大量確実な真偽判定ができる方法も用意しております。

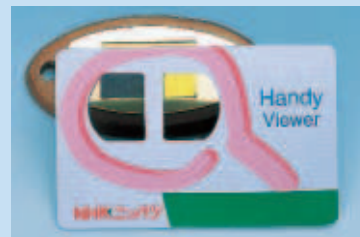
今後も家電製品、工業製品、衣料品、医薬品など、さまざまな分野への導入を進めており、ますます需要が拡大するものと期待しております。



個別株券認証装置 IOSAS (イオサス)



FibeCrypt (ファイブクリプト) 製品



トラストグラム

海外部門

当部門は、海外進出先での経済発展への貢献、地域社会との融合を基本理念として積極的に事業を展開してまいりました。

当期の主な活動としては、今後拡大すると予想される中国市場に懸架ばねの生産拠点 広州日正弹簧有限公司を華南地区の広州市に設立いたしました。本年6月の生産開始に向けて準備作業を進めております。北米においては、建設中であったニューメーサーメタルス社の第二工場が昨年8月に生産を開始いたしました。

一方、国内ではフランスのシートメーカーであるフォルシア社との合弁会社フォルシア・ニッパツ九州社が、昨年12月より自動車用シートを客先に納入開始しております。

今後も、客先への世界最適供給を実現するため、当社の11か国27社の海外拠点をフルに活用し対応してまいります。



広州日正弹簧有限公司

研究開発部門

当部門は、次世代ニーズに基づいた基幹事業の展開と新しい事業分野の開発を目指して、基盤技術から新製品に至るまでの開発を積極的に推進しております。

近年インターネットの普及などで注目されている光通信分野は、新たに開発を進めている分野のひとつであります。当社では、独自の製造法により光導波路型分岐器を開発し、あわせてそのパッケージ化技術、さらに高密度伝送のキー部品となる光導波路型分波器の開発も進めております。その他に、金属細線成形技術に基づいたエンジン部品を強化するための金属繊維強化材や、メカトロニクス技術に基づいたITS（高度道路交通システム）製品である車載用レーザーレーダアクチュエータなども新事業テーマとして取り組んでおります。

また、金属材料技術、セラミック材料技術、接合技術および地球環境問題に対応するためのリサイクル性を考慮した高分子材料技術など、基盤技術の強化も積極的に進めております。



光通信部品



金属繊維強化材



車載用レーザーレーダ
アクチュエータ

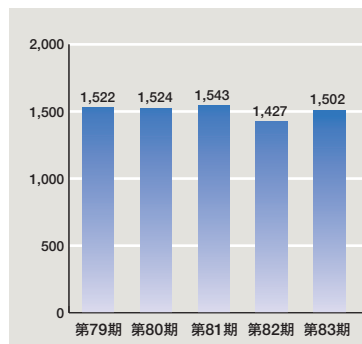
単独情報

貸借対照表

(単位：百万円)

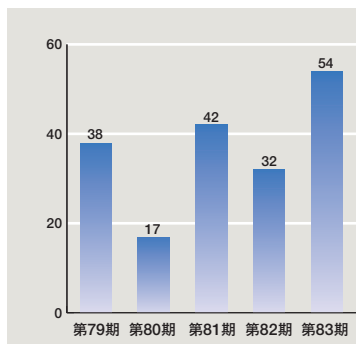
科 目	第83期 平成15年3月末	第82期 平成14年3月末
(資産の部)	166,482	169,320
流動資産	68,480	67,130
現金及び預金	5,827	10,592
受取手形・売掛金	43,099	41,312
棚卸資産	9,441	8,602
その他	10,232	6,877
貸倒引当金	△120	△255
固定資産	98,002	102,190
有形固定資産	59,196	63,665
建物・構築物	24,537	26,182
機械装置	17,901	20,314
土地	12,728	12,589
建設仮勘定	1,531	1,814
その他	2,498	2,764
無形固定資産	794	900
投資等	38,011	37,624
投資有価証券	21,425	22,836
子会社株式	10,166	9,869
その他	6,539	5,032
貸倒引当金	△120	△113
資産合計	166,482	169,320

科 目	第83期 平成15年3月末	第82期 平成14年3月末
(負債の部)	108,787	111,352
流動負債	69,552	69,935
支払手形・買掛金	31,420	35,918
短期借入金	22,781	18,206
一年内償還社債	4,000	5,000
その他	11,350	10,810
固定負債	39,234	41,416
社債	4,000	8,000
長期借入金	19,862	17,978
退職給付引当金	15,372	15,438
(資本の部)	57,695	57,968
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	16,942	16,942
資本準備金	16,942	16,942
利益剰余金	21,692	20,412
利益準備金	3,633	3,633
任意積立金	4,727	4,886
当期末処分利益 (うち当期利益)	13,330 (2,800)	11,892 (1,810)
株式等評価差額金	2,764	3,607
自己株式	△713	△4
負債及び資本合計	166,482	169,320



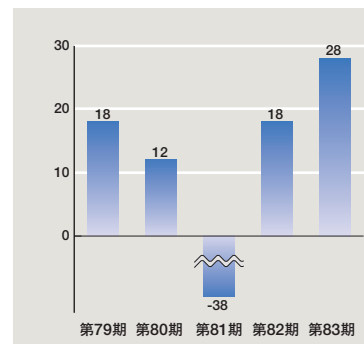
売上高

(億円)



経常利益

(億円)



当期利益

(億円)

損益計算書

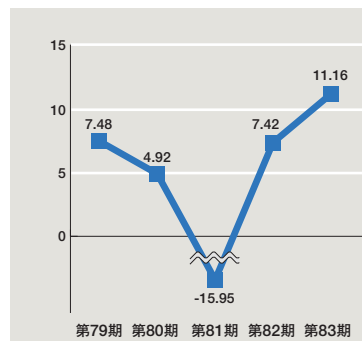
(単位：百万円)

科 目	第83期 平成14年4月～ 平成15年3月	第82期 平成13年4月～ 平成14年3月
売上高	150,266	142,741
売上原価	131,438	126,257
販売費及び一般管理費	13,774	14,090
営業利益	5,053	2,393
営業外収益	3,171	2,975
営業外費用	2,804	2,088
経常利益	5,419	3,280
特別利益	1,184	581
特別損失	2,184	1,701
税引前当期利益	4,420	2,160
法人税、住民税及び事業税	2,370	980
法人税等調整額	△750	△629
当期利益	2,800	1,810
前期繰越利益	11,262	10,814
中間配当額	732	732
当期末処分利益	13,330	11,892

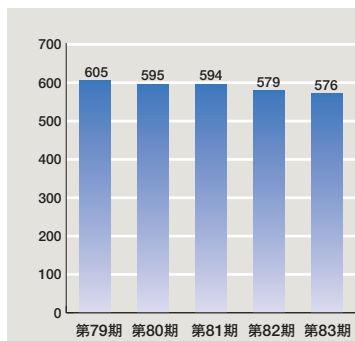
利益処分

(単位：百万円)

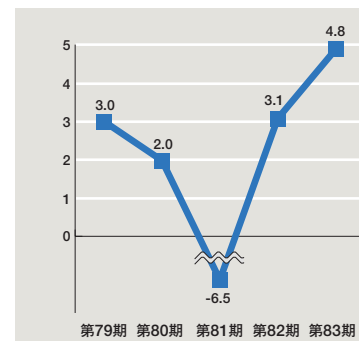
科 目	第83期 平成15年3月期	第82期 平成14年3月期
当期末処分利益	13,330	11,892
任意積立金取崩額	36	174
計	13,367	12,067
利益処分量		
利益配当金	725	732
役員賞与金	83	56
(うち監査役分)	(8)	(8)
任意積立金	—	15
計	808	804
次期繰越利益	12,558	11,262



EPS (一株あたりの当期利益) (円)



株主資本 (億円)



ROE (株主資本利益率) (%)

連結情報 (ご参考)

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第83期 平成15年3月末	第82期 平成14年3月末
流動資産	105,918	108,387
固定資産	140,538	147,764
資産合計	246,457	256,151
流動負債	110,456	114,721
固定負債	54,486	57,566
負債合計	164,942	172,288
少数株主持分	7,250	8,097
資本金	17,009	17,009
資本剰余金	16,942	16,942
利益剰余金	40,054	38,599
土地再評価差額金	39	39
その他有価証券評価差額金	3,153	4,294
為替換算調整勘定	△2,139	△1,114
自己株式	△796	△4
資本合計	74,264	75,766
負債、少数株主持分及び資本合計	246,457	256,151

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第83期 平成14年4月～ 平成15年3月	第82期 平成13年4月～ 平成14年3月
売上高	249,855	242,746
売上原価	211,436	207,262
販売費及び一般管理費	29,017	29,158
営業利益	9,401	6,326
持分法による投資利益	823	998
その他営業外収益	1,901	1,508
営業外費用	3,929	3,062
経常利益	8,197	5,771
特別利益	2,407	1,107
特別損失	4,097	2,443
税金等調整前当期純利益	6,507	4,436
法人税、住民税及び事業税	3,309	1,881
法人税等調整額	72	△675
少数株主利益	33	622
当期純利益	3,092	2,609

株式の状況

(平成15年3月31日現在)

発行する株式の総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	23,379名

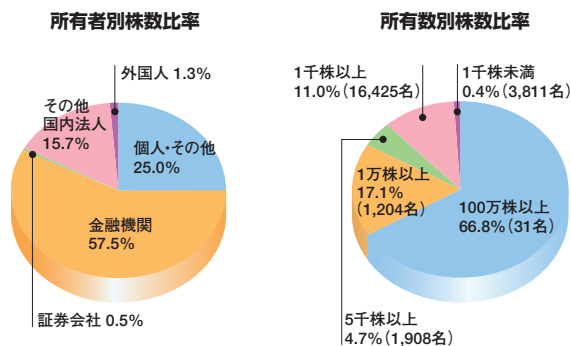
大株主

(平成15年3月31日現在)

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
三菱信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼口 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行(株)	30,892	12.7
日本トラスティ・サービス 信託銀行(株)(信託口)	19,421	8.0
日本マスタートラスト 信託銀行(株)(信託口)	17,153	7.0
(株)メタルワン	11,118	4.6
(株)みずほコーポレート銀行	10,755	4.4
みずほ信託退職給付信託神戸製鋼口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行(株)	9,504	3.9
日商岩井(株)	7,911	3.2
(株)横浜銀行	7,406	3.0
日商岩井保険サービス(株)	6,432	2.6
資産管理サービス信託銀行(株)(年金信託口)	3,723	1.5

株式の分布状況

(平成15年3月31日現在)



中間配当

平成14年11月14日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月6日、1株につき3円の間接配当を実施いたしました。

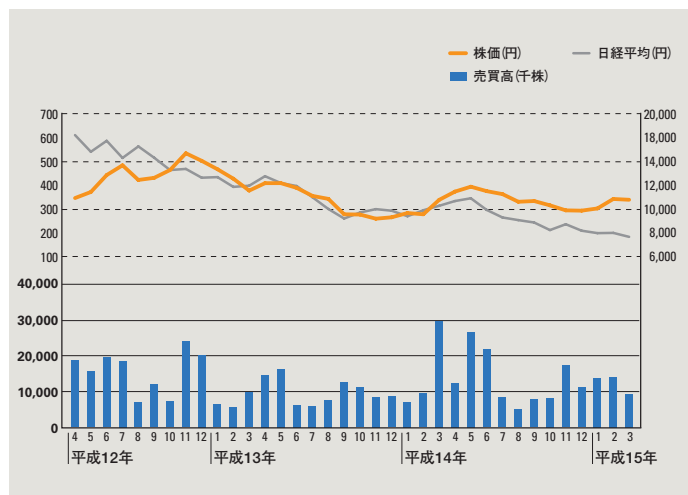
取締役・監査役

(平成15年6月27日現在)

取締役社長	佐々木謙二
取締役副社長	河村公二
取締役副社長	宮田忠男
専務取締役	鈴木啓一
専務取締役	天木武彦
専務取締役	池田勝一
常務取締役	石川隆重
常務取締役	長澤國雄
常務取締役	重岡 巖
常務取締役	布施 武
常務取締役	天野一敏
常務取締役	佐々木晃一
取締役	吉田英穂
取締役	犬伏泰夫
取締役	山口 努

取締役	升谷治樹
取締役	長瀬悠一
取締役	永田正男
取締役	木村雅彦
取締役	高橋秀敏
取締役	玉村和己
取締役	山崎 章
取締役	齋藤哲夫
取締役	佐藤繁美
取締役	安田 滋
常勤監査役	藤田一彦
常勤監査役	三宅 洋
監査役	小澤正俊
監査役	和田讓治

当社株価・売買高の推移



株主メモ

1. 基準日	毎年3月31日 その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします
2. 配当金受領株主確定日	毎年3月31日および中間配当を行う場合は9月30日
3. 名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同事務取扱所 (お問い合わせ先)	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (03)5683-5111 (代表)
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
4. 公告掲載新聞	日本経済新聞
5. 貸借対照表および損益計算書 掲載のホームページアドレス	http://www.nhkspg.co.jp/ir/index.html

会社概要

(平成15年3月31日現在)

設立	昭和14年(1939年)9月8日
資本金	170億円
従業員数	3,710名
本社	〒236-0004 横浜市金沢区福浦3丁目10番地 電話 (045)786-7511
ホームページアドレス	http://www.nhkspg.co.jp/
分館・分室	東京分館/横浜分室
支店	北関東/浜松/名古屋/大阪/広島
営業所	福岡
工場	横浜/群馬/太田/厚木/伊勢原/伊那/駒ヶ根/豊田/滋賀/野洲
海外事務所	イギリス/スペイン
国内関連会社	29社
海外関連会社	27社